

令和元年5月定例会  
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会

1. 日 時 令和元年5月10日(金) 午前10時00分開議

2. 場 所 宇土市教育委員会2階会議室

3. 出席委員 太田 耕幸教育長 岩村 俊明教育長代理 近藤 修委員  
園田 寛子委員 芥川 学委員

4. 欠席委員 なし

5. 職務のために出席した者

学校教育課長 田尻 清孝 指導主事 太田黒 保宏  
学校教育課課長補佐 岩崎 広美  
生涯活動推進課長 湯野 淳也 文化課長 野田 恵美  
給食センター所長 藤本 勲 図書館長 舟田 武弘  
公民館長 久多見 さとみ



#### 議事日程

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 会期の決定
- 3 議案第48号 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について  
(花園小学校)
- 4 議案第49号 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について  
(走潟小学校)
- 5 議案第50号 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について  
(緑川小学校)
- 6 議案第51号 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について  
(網津小学校)
- 7 議案第52号 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について  
(住吉中学校)
- 8 議案第53号 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について  
(網田小学校・網田中学校)
- 9 議案第54号 宇土市都市公園条例の一部を改正する条例について
- 10 議案第55号 宇土市社会教育委員の委嘱について
- 11 議案第56号 宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 12 議案第57号 宇土市立図書館協議会委員の任命について
- 13 議案第58号 令和元年度宇土市一般会計補正予算について

報告事項







議会で議決されない場合は予算がとれない場合もあるのか？2つ目は、幼稚園改築事業の起債の借入について、詳しく説明してほしい。3つ目は、トレーニングセンターの網戸の件であるが、窓のみなのか？ドアのところにつける予定はないのか？

学校教育課長

1つ目の議会について、ごく稀にあるが、議会で否決された場合、予算は取れない。または、修正して可決などもある。ごく稀であり、提案した予算については、ほとんどが可決される。2つ目の起債については、昨年度国土強靱化が閣議決定されて、国土強靱化の事業にすれば、交付税措置がくるため、幼稚園の改築が耐震によるもので対象事業となり、基金を財源とするより、交付税措置のある起債を財源とした方がよいということで、今回の補正で計上することになった。

生涯活動推進課長  
近藤委員

トレーニングセンターの網戸について、窓のみを予定している。帰国・外国人生徒教育の推進支援事業補助金の補正予算を計上してあるが、歳出が補正していない。歳出はどうされているのか？また、期間はいつからか？

英語チャレンジ事業の歳出の説明のところで、鶴城中は1人当たり2,990円、住吉中は1人当たり2,970円網田中は1人当たり3,130円である。違いがあるのか？

図書館は駐輪場をどこにもっていくのか？

学校教育課長

英語チャレンジ事業の歳出について、英検の級ごとに金額が違う。4級を対象にしていたが、学校によって4級を取得している生徒がいた。3割を3級、7割を4級ということで計上した。

図書館長

駐輪場の場所は児童室の北側になる。15台くらい入る。煉瓦作りの囲いがある。そこを舗装して駐輪場にする。

八浪係長

帰国・外国人生徒教育の歳出については、当初予算で計上しており、歳入については、今年度から文科省の補助対象となり、2月に申請、4月の交付決定であったため、歳入は当初予算で計上しておらず、今回の補正予算にて計上する形となった。期間は4/1～3/31である。

芥川委員

立岡グラウンド砂利のところをコンクリートにし、駐輪場スペースをとることは非常にいいことである。身障者用のマークを付ける際は業者の判断でされるのか、誰かが意見を言っているのか？トイレが右側にある。トイレの近くに身障者用の駐車場を作るといことになるのか？

生涯活動推進課長

全面の舗装ではなく、トイレ近くの一部を舗装する。

《採決》（原案とおり）



《子ども議会の内容変更について》

芥川委員

議会のことを知る、宇土市のことに関心を持つ等10年間の子ども議会は非常に良かったと思う。4つ案があるが、市政に活かそうというものなのか？参加される児童・生徒の学びによるものなのか？どちらに重点を置くのか？両方を目指しているのか？その点を踏まえて考えてみた。個人の学びは各学校へ返すことは難しい。私自身、座談会かサミットがよいと思った。座談会は市長が話をされて、それに対して、意見を言ったり、質問したりは子供たちは難しいと思う。サミット形式にし、前もってテーマを決めてするとよいと思う。

園田委員

私自身は、10年間同じ質問ということは、あまり変わっていないということであるが、同じでも10年間の流れを回答できればいいかとも思った。マンネリ化しているということであれば、芥川委員と同じで座談会かサミットが良いと思う。子ども議会の場に市議会議員がおられる。子どもたちの意見を聞いてもらいたい。座談会では市長が話されたことに対して回答するのは市長であるのか？市全体で子ども議会をすることに對し、回答するのが市長1人ではどうなのか？と思った。

近藤委員

議会ということにこだわらず、1つの政策についてプレゼンの対決をしてもらおう。例えば、宇土市の人口を5,000人増やすには、どうしたら良いか？そういうことを各学校へ提案してプレゼンで対決してもらおう。そうすると、最優秀賞などつけないといけないと思う。毎年テーマを変えて、今年は観光をテーマにする、ある年は漁業を進行するには、どうすれば良いか？など、そういうことを各学校に提案し、各代表3～5人で話し合っ発表してもらおう。その中で、子どもたちが思っていることを法律では可能か？という問いは市に質問してもよいと思う。ただ時間はかかる。選挙の投票率が低いので、模擬選挙を行い、全生徒に選挙をしてもらい、自分の好きな政策はどれだということを発表してもらおう。実現はどれも難しいと思う。今年は例年通りで、来年度に向けて1年かけて考えてもいいのかなとも思った。

岩村委員

10年間子ども議会を続けてこられて、意義はあったと思う。例年同じやり方でやると、質問も同じようなところが出てくる。そこで色々な課題が出てきたと思う。丁度改元があり、令和の時代に入って変更はいいタイミングかなと思う。事業見直しはいい時期ではと思う。案が4つあげてあるが、皆様がおっしゃったように座談会・サミットがいいと思った。その中で1番いいと思った



のはサミット形式である。国際会議でもサミットがあり，特別なテーマについて議論を重ねていく。そういう形式で子どもたちにテーマを与えて，児童・生徒の視点からどうしていくか？「宇土市をよりよくする」「地域をよりよくする」「学校をよりよくする」等自分たちは，どうするか？という視点で意見発表をしていく。意見が出たものに対して，他の子供たちが意見を出し，修正案を出しながら，よりよいものにまとめていく。そのためには，事前に子供たちが意見を出しやすいようなテーマを作成し，学校へ依頼し，考えてもらっておく。最初，ある程度の流れを作るように指導してもらおう。そのように進めてもらったと思う。「宇土市の将来を見据えてどう変えていきたいか？」など，そういうテーマを出してはどうか？将来を担うのは子供たちである。子供たちが宇土市をどうしていきたいか，子供の視点から色々な意見を出していくことは，意義があることと思う。流れを作っていくコーディネーター役が大事である。かなり考慮しながら進めていけないといけない。

太田教育長

サミット形式ですと小中学校を一緒にするのか？中学生を2人ずつにして，小学校と中学校を分けてしたほうがいいと思う。小学生は中学生の中ではなかなか意見を言いにくいと思う。テーマについて「小学生ではこの意見」「中学生ではこの意見」とした方が意見が出やすいと思う。多くの子供たちの意見が出る方がいいと思う。

議事録署名

委員 岩村 俊明

委員 園田 寛子